

「むずかしいことはやさしく。
やさしいことはふかく。
ふかいことはおもしろく」
(井上ひさし)



**<もの作り>もすべて同じ！
やさしく、おもしろく！**

■<もの作り>論・・・私への覚書！



高大での授業や<科学の出前授業>では、今はほとんど<もの作り>をしていません。佐藤さんや高松さん、高大<子ども教室OBG会>の皆さんにお任せして私は、<科学実験>の準備と授業進行に全力投球をしているというわけです。

それでも、先生を30数年してきましたから<もの作り>の経験は数多くあります。

今日は、高大活動から学んだことや体験を踏まえて、<もの作り>について私なりの、原則を書いておくことにします。

<もの作り>私への覚書

- ①発明発見・工夫はちょっとしたアイデアから。それには、多様な問題についての知識と興味が決定的に大切。<やる気・その気>なくして創造なし！
- ②「ちょっとした工夫で面白いことができる」という体験を数多くしていることが大切。 ★<SA・子ども教室>が関わる教室やイベントもその場の一つ！
- ③たのしい<もの作り>は、創意性を発揮するための基礎。たのしさが大切。
- ④授業の原則は、「すべての子ども達にうまくできた」の達成感を与えること。
- ⑤同じ作業を2度3度繰り返す！・・・すると、物事の本質がより見えてくる。
- ⑥上達論（うまくなる）の基本は、まず真似ることから。創造は模倣から！
- ⑦<もの作り>が得意な人へ！最後まで丁寧に指導してほしい。高級な知識は特殊な知識。無理して教えないことが大切。「できないよう！」は最悪です。
- ⑧いつでも、「教材選びは子どもに聞く」が基本。協力して教材を開発したい。

学校って・・・

●学校は…「ぼく・わたし」以外のたくさんの人々との出会いの場。人間って、人と人との間で、はじめて幸せに生きれる存在。

「ぼく・わたし」が自分自身に自信を持てるときってね…それは、「ぼく以外の人」がぼくを認めてくれた時。ぼく以外の人、ぼくを好きになってくれたとき。「あー、ぼくも人の役に立つんだ嬉しいなあ…」と思えたとき。人間は、胸をはって自分のことを自分で好きになれるのです。自分のすばらしさの発見ができるのです。そして、他人にもやさしくなれるのです。

学校は…「ぼく・わたし」以外のたくさんの人々との出会いの場。僕は、その学校の授業で、目の前の人たち、それぞれに「自分の存在のすばらしさ」と「他人の存在のすばらしさの発見」の機会・チャンスを与えられたらシアワセだなあと考えています。 (小原茂巳・明星大学)



感想文は私の宝！こんな嬉しいこともありました！

自己紹介を兼ねて・自慢話！

投稿者: haizuka

2008/5/18 18:28

音田先生の名前をこのブログで見つけてとても嬉しく思い、思わずコメントさせていただきます。

20年程前に音田先生の授業を2年間受けました。

「仮説実験授業」本当に楽しかったです。数々の実験を鮮明に憶えています。

また音田先生の授業は、仮説だけじゃなく、体育、国語、社会、算数、図工。どれをとっても超一級品の楽しい授業でした。三十路を目の前に控えた今でもあの頃を懐かしく思っております。夏休みを残念に思ったのは人生である2年間だけでした。先生の楽しい授業のお陰でそれ以降の学生生活も充実したものが送れたと思っています。もし自分に子供ができれば、是非先生の教え子になって欲しいと思っています。

【追伸: 仮説サークルの先生方へ】

今は20年前と違って、小学生や保護者の質も変わっているので、かなり先生というお仕事は大変だと思いますが、これからもみなさんのような良い先生方が仮説のような楽しい授業で、子供たちに学ぶことの楽しさを教え続けて下さる事を陰ながらお祈りしております。

敬意と感謝を込めて。